

第1回可児市地域公共交通協議会 議事要点録

日時 平成26年7月14日(月)

午後2時00分～午後4時00分

場所：可児市役所4階第1会議室

出席者：(委員) ※50音順：敬称略

大村 三津子 佐々木 透(代理 小倉保二) 佐橋 雅喜 澤田 幸博 品川 湜彦
鷺見 真人 高木 伸二 田上 元子 長尾 広幸(代理 森島直人) 丹羽 年弘
林 則夫 林 美由樹 藤村 義久 松田 勲(代理 増田文代) 溝口 明宏
門間 實 山本 博康(代理 棚橋秀幸) 山本 豊 横田 賢二 若林 拓史
(事務局)

総合政策課長 牛江 宏 総合政策係長 河地 直樹 企画統計係長 飯田 好晴
企画統計係主任 渡邊 真史 総合政策係主事 伊藤 佑治

欠席者：なし

1. あいさつ

事務局が開会を宣した。

〔会長選出まで事務局で議事進行を行う〕

2. 委嘱状交付

事務局が要綱について説明し、全員に委嘱状を交付した。

3. 会長の選出

(会長の選出)

協議会設置要綱第5条に基づく会長の互選について事務局が説明した後、委員へ意見を求めた。

○委員 会長の互選については事務局の案を伺いたい。

○事務局 会長については、昨年度に引き続き、副市長ではどうか。

〔賛成の拍手があり、佐橋委員が会長に就任し、会長席へ移動。以後、会長が議事進行を行う〕

(会長あいさつ)

会長が委員各位へのお礼と、公共交通の重要性を鑑み活発な議論をお願いした。

(議事録署名者の指名)

会長から議事録署名者として、門間實委員と溝口明宏委員を指名した。

(非公開情報の確認)

事務局が非公開情報はない旨を回答した。

4. 協議会の運営について

事務局が資料1、資料2に基づき、可児市地域公共交通協議会設置要綱および、可児市地域公共交通協議会の会議運営について説明した。

5. 市内公共交通体系について

事務局が市内公共交通体系について、当日に配布した可児市コミュニティバスのマップ等を示し、説明した。

6 (1). 《報告事項》市自主運行バスの利用状況等について

事務局が市自主運行バスの利用状況等について資料3に基づき説明した。

○委員 一人当たりの補助金額とはどのような計算に基づき出しているものか。

○事務局 運行補助金額を利用者数で割った数値で、一人乗車するにあたりいくら市の税金を投入しているかを示している。

6 (2). 《協議事項》さつきバスのダイヤ等修正案について

事務局がさつきバスのダイヤ等修正案について資料4に基づき説明した。

○委員 事業者としてさつきバスの運行をしているが、この修正案をいただいたのが10日ほど前である。10月1日のダイヤ改正に向けてこれから支局への届出等の手続きを行う。他市では半年ほど前からダイヤの修正についての話をいただいているが、他市の手続きもあり、可児市分の路線申請が間に合うかどうか心配である。

その点について、事務局の考えを伺いたい。

○事務局 申請が遅れている点については、ご迷惑をおかけしており申し訳ない。10月1日がバス年度のスタートだと理解している。事務的な部分は努力していくのでご協力をいただきたいと思っている。

○委員 電話をいただいた際に、担当からも難しいと返答はしている。支局の方とも相談をしていきたいと思うが、他市の再編の話も受けており、10月1日のダイヤ改正は難しいと思っている。

○事務局 いつなら確実にしていただける見込みがあるか。

○委員 10月1日が契約で1年間運行するので時期をずらすのは難しいため、頑張っ間に合うよう手続きをしていくが、あまりにも今回の再編スケジュールはおかしくないですかということをお願いしたい。時刻改正や、本数の改正は難しくないが、新規路線を作るのであれば、1ヶ月ちょっとの期間では本来では難しいというところを皆様にご理解いただきたい。

○会長 事務局は事業者のみなさんと連携を図って行っていくこと。事業者様におかれては、スケジュール的に厳しい部分があると思うが、よろしくお願いをしたい。

○委員 支局としては、公共交通協議会で決定している内容なら問題ないと受け取ってよいか。

○委員 支局としては、①協議会における事前調整、②公安委員会との調整、③地元利用者との合意。この3点が取れていれば大丈夫である。

○事務局 その3点についてはどれが欠けてもいけないので、必要などころと必要な協議をし、ご理解をいただいた上で進めていくのでよろしくお願いをしたい。

○委員 修正案について、利用者の意見を聞いて修正をされたと思うが、利用されていない方の意見も聞いて参考にしていくとよい。

○事務局 今回は利用者を中心に意見を聞いた。前回の大きな再編の際は、地域の方と数回話し合いをさせていただいて再編の参考にした。今回は再編後の利用者からの意見や事業者からの意見を受けての微修正であるため、全体の意見は聞いていない。そういった背景があったことをご理解いただきたい。

○委員 桜ヶ丘からの路線はもう少し、シンプルにして頂きたい。また、緑ヶ丘などを電話で予約バスで対応するなどして、なるべく直線で短い距離で結ぶ方がよい。

○事務局 桜ヶ丘線については、昨年の再編の際にとっても悩んだところである。ヨシヅヤに行かれる方がとても多いという点もある。今後も利用者の意見もいただき考えていきたい。

桜ヶ丘線については、東濃鉄道さんの緑ヶ丘線と同じ路線であるため、そこと競合することを避け、どのような形がいいのかを今後もいろんな方のご意見をいただきながら議論していきたい。

○委員 桜ヶ丘線については、知っている人は知っているのかもしれないが乗換の方法など乗り方が複雑だと感じた。またそういった乗換の方法の説明などがどこにも書いていない。

○委員 いずれにしても高齢者が多いのでシンプルなものがよい。ますます利用する高齢者が減ってしまう。移動支援や買い物支援などのボランティアが広がりつつあるが、これも限りがあるのでそ

ういった面も理解いただきたい。

○事務局 桜ヶ丘線と東部線については、分かりやすい表記ができていない部分があると思うので、今後も改善をしていきたい。

○会長 さっそく取り掛かるように。

○事務局 修正案について今日ご意見いただいた中の、時刻表の分単位の話など細かい箇所については、事業者とつめていかなければいけないと思っている。大きな指摘はなく、事務局案としては了解いただけたと理解させて頂くが、次回以降の見直しに反映しなければいけないご意見や、分かりやすい時刻表の作成等については今後検討していく。なんとか 10 月 1 日の再編という形で実行できるよう取り組んでいく。

○委員 乗り換えをしなければいけないという点が利用者を失っていると以前から思っている。さつきバスの利用者が減少している問題については、深刻に考えたほうがよい。今の利用者を守っていくことが重要だと思う。今の利用者を失わないように運行を改善していくのが望ましい。どのような利用があってこのような路線に改変したのかをもう一度整理して、その結果をみて考えていくとよい。

○事務局 今回は昨年の大きな再編の中で、支障が出ている点についての改正であるが、そもそも昨年の再編時に立ち戻って、ゼロベースから考えたほうがよいということで理解してよろしいか。

○委員 ゼロベースがよいと思う。以前、さつきバスの調査を行い、分析を行ったところ、新しい利用者を獲得するのはとても困難であり、今の利用者を失わないようにすることが重要であるとの結果が出ている。

○会長 根本に関わる大きな課題であるので、改めて検討の必要はあると思うが、今回は、軽微な修正ということで提案をさせて頂いている。この点についてはまずは修正案については皆様にご了解いただき進めさせていただくということでよろしいか。

【協議事項について了承】

○会長 本日の協議事項について、了承が得られたため、10月1日の再編に向けて事業者のご理解を得ながら進めていただきたい。

6 (3). 《報告事項》 帷子地区「電話で予約バス」運行事業者の変更について

事務局が帷子地区「電話で予約バス」運行事業者の変更について資料5に基づき説明した。

6 (4). 《報告事項》帷子線・緑ヶ丘線（東濃鉄道株）・Y A Oバスの利用状況について

事務局が帷子線・緑ヶ丘線・Y A Oバスの利用状況について資料6に基づき説明した。

6 (5). 《報告事項》名鉄広見線（新可児～御嵩駅）について

事務局が名鉄広見線（新可児～御嵩駅）について資料7に基づき説明した。

○委員 事業者として補足させて頂く。たしかに利用者数の減少傾向は続いてはいるが、過去に比べると減少傾向が緩やかになっている。これも「乗って残そう」という形で取組みをさせていただいている結果だと思う。沿線自治体からの財政支援が前提となるが、当社としても出来る限り広見線を残すことができるよう、事業者としてできることを取り組んでまいりたいので、ご理解とご支援をお願いしたい。

○委員 名鉄広見線活性化協議会の発足当時から参加している。試行錯誤をしているが厳しい現状である。リニアが中津川までくるので、御嵩から中津川まで路線を延ばすとよいと名鉄に申し上げてきた。御嵩・八百津は昔から松茸の産地なので、それで誘客をするとよい。また、名鉄と同じほどの歴史がある東濃高校について魅力のある学課を新設すれば、必ず学生が来るのではないか。この3点について以前、提案をし、今でもその考えは変わっていない。今後は御嵩から八百津まで道路が新設され、交通の便もよくなると思う。とにかく交通弱者の足の確保のため、何としても名鉄広見線を残していかななくてはいけないと考えている。

○事務局 アンケートの内容は決まっているのか。

○事務局 アンケートの内容については決まっており、7月7日の活性化協議会において承認を得ている。

○委員 アンケートのスケジュールが7月配布とのことだが、高校生はこれから夏休みに入ってしまうのではないか。

○事務局 高校生については、学校とも連携を取りながら、夏休み前にその日のうちに回収できるような方法で実施していく。

7. 意見交換

○委員 事業者としてさつきバスを運行しているが、期間が短い中、再編を行うということで、過酷な労働をさせて頂くが、一生懸命事務を進めていく。ただ、もう少し早めに教えていただかないと不信感を抱いてしまうことになるのでお願いをしたい。また、さつきバスを平成12年から運行をしているが、車両購入の時期が来ている。車両の償却は10年であり、可児市で車両更新ができないのであれば、私

どもで用意させていただくと話をさせていただいたが、今は話が進んでいない状況になっている。安心・安全という面から考えてもとても使用できないという状況の中で運行している。覚書を見てきたが、この状況が続くようであれば、事業者としてさつきバスが運行できるのかできないのかという話もさせて頂かなければいけなくなってくる。

○事務局 10月の再編に向けて市も手続きが遅くなりご迷惑をおかけした点についてはお詫び申し上げながら私どもも努力させて頂きたいと思うのでお願いをしたい。また、東濃鉄道さんの方向性と、市の対応が十分連携が取れていないという点についても、皆様方にもご迷惑をおかけしているのでしっかりと今後協議をしていきたいと考えている。車両購入については、協議が進んでいないとのご指摘があったが、私どもとしては、今年度予算確保もしており、協議中との認識でいたので、今後もしっかりとした協議をさせて頂きたいと思っているのでよろしくをお願いをしたい。

○委員 本日乗ってきて思ったことだが、電話で予約バスの市役所の停留所は、市役所の正面にはならないのか。

○事務局 さつきバスの待合所を市役所の下に作ったというのがスタートだと思う。利用のご提案という形でいただき、今後検討をしていく。

○委員 今回、議題にはなっていないが、JRの可児駅が非常にバリアフリーに逆行している。駅やバス停などに屋根を設置するなど、駅をバリアフリー化にしていくお考えはあるのか。

○事務局 所管課は違うが現在、駅前整備を進めている。最終的には南側の駐輪場までの駅前広場になるので全体としては広くなる予定である。バスの乗降についても、整備をしていく予定である。JRの可児駅については駅の東側と西側を自由に行き来ができるよう自由通路についても協議中である。今はご不便をおかけしている状況ではあるが、数年後を楽しみにお待ちしております。

8. 閉会

会長から、本日の協議結果について非公開にする部分はないことの確認があり閉会した。前記のとおり会議の議事要点を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 26 年 8 月 29 日

署名委員 門間 實

署名委員 溝口 明宏